

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。  
詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2019年6月6日、株式会社スリー・ディー・マトリックスは2019年4月期業績予想の修正、営業外損失および特別損失の計上見込みに関して発表した。

### 2019年4月期通期の業績予想の修正

- ▷ 事業収益：328百万円（前回予想は512～2,562百万円）
- ▷ 営業利益：-2,267百万円（同-2,217～203百万円）
- ▷ 経常利益：-2,426百万円（同-2,217～203百万円）
- ▷ 親会社株主に帰属する当期純利益：-2,554百万円（同-2,242～178百万円）
- ▷ 1株当たり当期純利益：-97.41円（同-93.50～7.42円）

### 修正の理由

同社の2019年4月期の業績予想について、事業収益として吸収性局所止血材の製品販売と契約一時金およびマイルストーンペイメント（以下「契約一時金等」）を計画し、事業収益・各利益ともに下限・上限を定めたレンジ形式による連結業績予想としていたが、以下を主要因として業績予想を修正した。

主に同止血材の製品販売512百万円（内、欧州：375百万円、アジア/オセアニア：119百万円、中南米/カナダ：18百万円）および販売提携に伴う契約一時金等2,050百万円（内、韓国でのCEマーキング登録承認に伴う一時金50百万円、欧州での販売提携に伴う契約一時金2,000百万円）の事業収益をレンジ形式で予想をしていた。同止血材の製品販売321百万円（内、欧州：約194百万円、アジア/オセアニア：約127百万円）、その他研究試薬販売7百万円、合計328百万円の事業収益となる見込みで、契約一時金等の計上は見込まない。主な修正理由は下記のとおりであった。

#### 同止血材の製品販売計画との差異に伴う修正

製品販売に関して当第3四半期末時点で、欧州では主に主要国の1つであるドイツにおいて大手体外診断用医薬品メーカー/医療機器販売代理店のWerfenグループ（現地での販売は子会社のニコライ社）の販売が拡大し、オセアニアではオーストラリアにおいて計画に比し順調に推移した。第4四半期に入りオーストラリアでは販売計画を上回ったものの、欧州では販売提携の締結が完了せず大きなロットの受注が見込めなかったことや、一部の現地代理店では販売計画との差異が生じたことなどの要因で、通期販売計画比では約63%となる見込みとなった。

#### 同止血材の販売権許諾契約に関する修正

契約一時金等に関しては、欧州全域への販売を目的とした販売提携につき候補先（対象全域に販売網・プロモーション機能を有する企業）を3社に絞り、当期末を別途として契約締結を予定していた。契約一時金等は心臓血管外科領域、消化器外科領域、消化器内視鏡領域の3領域での販売権の許諾の合計額で計画し領域別に契約交渉を進め、特に欧州で製品販売が拡大している消化器内視鏡領域を優先して交渉を進めた。しかし、当期内の契約締結には至らなかった。

また、韓国の契約一時金等は当局の審査が継続中であり、2019年4月期での審査が完了しないことから、登録承認に伴う契約一時金の計上が出来ない見通しとなった。

#### 事業収益の修正による費用及び利益計上額の修正

同社の通期費用および各利益額に関しては、当初の予想レンジ下限で原価は約286百万円と計画していたが、原価は製造の一部仕損が発生したこともあり約312百万円となり、売上総利益は約16百万円となる見込みである。また当初の予想レ

ンジ下限で販売費及び一般管理費は1,402百万円、研究開発費は671百万円と計画していたが、主に欧州における販売・マーケティング活動の費用の増加などから、販売費及び一般管理費は約1,497百万円となる。研究開発費は臨床試験の開発期間の延長により約786百万円となる見込みである。その結果、営業損失は約2,267百万円となり当初予想を下回る見込みとなった。

#### 営業外損失の計上見込みについて

同社は、2019年4月期に約136百万円の為替差損を営業外損失として計上する見込みである。これは主に同社連結子会社が保有する外貨建て資産等の為替相場の変動により生じる評価替えによるものである。

#### 特別損失の計上見込みについて

同社は、前期末で有形固定資産及び無形固定資産の減損を行った。資産内容は同止血材や歯槽骨再建材等の医療製品事業に関する検査機器、特許権及び特許実施権であるが、事業遂行の過程で相互に関連することから一つの資産グループと見做し一括の減損処理を行った。当期も四半期毎に減損の兆候が生じた対象資産について、当期以降の収益性を見積り、対象資産の帳簿価額と回収可能性額を比較検討し、減損処理の判定を行った。

2019年4月期第3四半期累計期間において資産計上した固定資産106百万円につき減損処理を行った。2019年4月期第4四半期（2019年2-4月）に資産計上見込みの固定資産約38百万円の減損処理を検討しているため、2019年4月期に約144百万円の特別損失を計上する見込みである。

上記の影響を考慮し、経常損失は2,426百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は2,554百万円に修正した。

なお、欧州全域への販売提携については、消化器内視鏡領域において十分な販売体制/規模を有する候補先と契約締結に向けた協議を実施しているが、現在、最終の検討を進めており、契約締結を見込んでいる。その他の領域である心臓血管外科領域や消化器外科領域については、引き続き候補先と契約締結に向け協議を重ねる。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

### ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

### 金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

### 連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.  
東京都文京区千駄木3-31-12  
HP: <https://sharedresearch.jp>  
TEL : (03)5834-8787  
Email: [info@sharedresearch.jp](mailto:info@sharedresearch.jp)